

■早良親王(崇道天皇) 皇太子。藤原種継事件に坐して幽閉され、絶食死、以後死者相次ぎ、怨霊1号になった。  
さわらしんのう  
・・・・・・・・ 750= 生。光仁天皇の皇子。母は高野新笠。桓武天皇の同母弟。

聖武天皇没・ 756= 6歳 :

万葉集最終歌 759= 9歳 :

・・・・・・・・ 768=18歳 : 出家して東大寺に住したが、  
宇佐八幡神託 769=19歳 :  
称徳天皇没・ 770=20歳 : 父光仁天皇が即位するに伴って、親王となり、

16遣唐使・・ 777=27歳 :

桓武天皇即位 781=31歳 : \*桓武の即位に伴い、皇太子に立てられた。当時、桓武の皇子がまだ幼少であり、さらに光仁上皇の強い推挽もあって、皇太子に選ばれたと推測される。

藤原種継暗殺 785=35歳 : 藤原種継と対立し、  
\*造営中の長岡京で桓武の寵臣藤原種継が殺される事件が起こった際、下手人として逮捕された大伴継人・佐伯高成らは、春宮大夫でもあった故大伴家持が首謀者で早良の耳にも入れてあったこと、継人らも早良を擁立して君とする計画のあったことを自白したといわれ、早良は直ちに皇太子を廃され、乙訓寺に幽閉された。しかし早良はこののち十余日間全く飲食を断ち、淡路に移配される途中の高瀬橋頭でことされた。それでも屍はなお淡路に送られて葬られ、天智天皇の山科山陵、光仁天皇の田原山陵、聖武天皇の佐保山陵に廃太子を報告する使者が遣わされた。早良の死には異常であって、時の人にも不本意な憤死と映った。